

**「成長戦略の効果を高めるための新たな検討課題(案)」
に対する委員意見について**

第2回成長戦略会議(書面開催)において、1. のとおり事務局から成長戦略の効果を高めるための「新たな検討課題(案)」について各委員にお示したところ、2. のとおりご意見をいただいた。

<趣 旨>

- ・成長戦略のビジョンの実現に向け、①日々進歩する科学技術や社会情勢の変化等への対応、②戦略の各柱の相乗効果等を高める分野横断的な課題について議論し、成長戦略の実効性をさらに高めていくことが重要。
- ・そのため、成長戦略の効果を高めるための「新たな検討課題」を選定し、令和6年度の施策への反映を目指して成長戦略会議で議論するもの。

1. 成長戦略の効果を高めるための「新たな検討課題(案)」【事務局提案】

検討課題	議論の内容
クリエイティブ・デザイン思考	成長戦略の各分野における、クリエイティブ・デザイン思考を活かした施策方針の検討
人材育成	成長戦略の効果を高めるために、今後、育成が必要となる人材の洗い出し
デジタル・DX	最新のデジタル技術を踏まえて、成長戦略の各分野における施策方針をアップデート
官民連携	成長戦略の各分野における、さらなる官民連携推進のための施策方針を検討

2. 委員意見

① 新たなテーマの追加等

【中尾座長】

- ・成長戦略を「実践していく」ために、アクションプランの対象範囲がこれ以上広がらない様に、成長戦略で解決することとしている「社会的課題」について議論することとして、課題を整理してはどうか。

【齋藤委員】

- ・農・林・水産業は富山県の財産であるが、衰退してきている。これら一次産業を守る戦略も成長戦略の1つとして加えてはどうか。

(対応案)

- ・本県の農林水産業そのものに係る政策については、「富山県農業・農村振興計画」や「富山県森林・林業振興計画」、「富山県水産業振興計画」を策定し、計画的に進めてきているところであり、基本的な政策については、引き続き、この計画の検討の中で進める。

- ・一方で、農林水産業の発展に向け、DXによる効率化やブランディングによる高付加価値化、異業種連携による新たな産業創出といった点については、さらに、別の視点から議論を深めることも必要であることから、「デジタル・DX」、「クリエイティブ・デザイン思考」の検討の中でのテーマとする。

【齋藤委員】

- ・県民の健康を守ることは、正しくウェルビーイングである。富山県の製薬企業の発展は、県民のみならず日本国にとっても重要。同時に高齢者医療を効果的に行うことも重要で、その結果、健康寿命が延伸し、労働力の確保にも繋がる。

(対応案)

- ・製薬業の発展戦略については「くすりのシリコンバレーTOYAMA 創造コンソーシアム」において、高齢者医療の効果的な実施による健康増進については「富山県健康増進計画」において、検討され取組みが進められているところ。これらの分野については、専門的な知見が必要な分野であることから、引き続き、個別の検討組織で検討を進める。
- ・一方で、製薬企業のDX化による効率化や、高齢者医療の効果的な実施と健康増進によるウェルビーイングの向上は重要であることから、「テクノロジーを活用したビジネスモデルの構築」や、デジタル技術を活用してウェルビーイングの向上を図る「ウェルビーイングテックの推進」として、「デジタル・DX」の検討の中でのテーマとする。

② 事務局提示テーマへの意見等

【土肥委員】

○ デジタル・DX、人材育成

- ・関係人口を広げるためには、人材交流(コミュニケーション)に関する能力の向上やその能力が属人的にならないようにするためのデジタル技術との組み合わせなども必要だと感じる。
- ・AIが発達しても人にしかできない能力のひとつに「コミュニケーション能力」が挙げられており、富山県成長戦略カンファレンスなどを見てもファシリタの重要度を感じている。そういった人と人との関係を繋ぐ潤滑材となるような人材の育成も重要だと感じた。IT 人材や起業家育成なども大切だが、こういった能力を持つ人材も富山に集まるようにしたい。

【中村委員】

○ デジタル・DX

- ・現状、各分野(各部署)において単発的なHP 作成や発信が行われ、デジタルならではの連動性が無く、かつリンク切れや未更新が頻発している。せっかくデジタルに取り組むなら、各施策の連動性を高め一元管理していく運用を検討すべきと考える。

※ その他の委員からは特段の意見なし。